

浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年7月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



厚内空襲から80年



厚内駅付近に建つ浄土真宗寺院「太子寺」には、80年前の厚内空襲の流れ弾を受けた痕跡が残る太子堂がある。さらに、もともとこの太子堂は、当日は太子寺に隣接していた厚内国民学校(厚内小学校)の奉安殿を再利用したもの。



2025(令和7)年春、厚内駅正面にたてられた文化財標識には、厚内駅の歴史とともに、厚内空襲へも触れています。

今年は1945(昭和20)年に第二次世界大戦が終結してから80周年の年です。この年の7月14-15日にかけて、北海道中で空襲や艦砲射撃があり、「北海道空襲」と呼ばれています。

厚内空襲

7月15日早朝、厚内駅に停車中の列車に向けて、襟裳岬沖に停泊していた航空母艦を飛び立ったアメリカ軍の索敵戦闘機が機銃掃射をしかけてきました。列車の乗客を含む3名(一説には4名)が命を落としています。旧大津村区域を含

む浦幌町域で、人身被害のあった空襲は厚内だけとされています。

厚内駅前に文化財標識を設置

今年の春、厚内駅前に、浦幌町教育委員会で文化財標識を設置しました。十勝最初の駅として厚内駅が開業して120年を記念するとともに、厚内空襲についても解説しています。7月15日にはこの標識を皮切りに、空襲の被弾痕跡が残る太子寺の見学や、体験者から話を聞く会などを開催する予定です。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

決戦増産手当の明細書

浦幌炭鉱で勤労報国隊として勤務していた、豊頃町(当時)の神谷重雄氏が受け取った「決戦増産手当」の明細書。

戦時中、石炭は大事なエネルギーですが、若い働き手はどんどん兵隊にとられていく時代。少ない人手に精神論で号令をかけ、石炭の大増産を煽っていた時代がうかがえる資料です。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

地域プロジェクトマネージャーが博物館事業の運営に参加する場合があります。

自己紹介



地域プロジェクトマネージャー
宮寺 由佳

2025年6月より地域プロジェクトマネージャーとして、まちづくり政策課に所属しております。

帯広商工会議所が実施する「十勝の観光文化検定試験(通称「とかち検定」)の受験をきっかけに、十勝や浦幌について知識を深めたいの思いから、昨年より博物館ボランティアをしています。

今年度は地域プロジェクトマネージャーとして、浦幌町の歴史や文化などの情報発信にも取り組みたく、移住者視点での学びや気づきを報告します。どうぞよろしくお願いいたします！



7月の博物館お知らせ

企画展

浦幌と戦争

5月31日（土）

7月15日（火）

10:00～18:00

場所:博物館特別展示ホール

終戦80年を記念し、当館が所蔵する戦争関係資料を展示します。

共催:浦幌町立図書館



トピック展

うらほろマラソン2025応援企画

浦幌とマラソン

5月31日（土）

7月15日（火）

10:00～18:00

場所:博物館常設展示室

うらほろマラソン2025の開催を記念して、浦幌におけるマラソンの歴史を写真と資料でご紹介します。



移動博物館

厚内空襲から80年

日時: 7月15日（火）14:15～15:30

集合: 14:15 厚内駅前

1945(昭和20)年7月15日早朝に発生した厚内空襲から80年にあたり、現場となった厚内駅周辺において、空襲の痕跡を観察し、当時の記憶を持つ方にお話をうかがいます。

内容:

- ・空襲のあった厚内駅を見学
- ・太子寺へ移動して、被弾の痕跡を見学。
- ・厚内公民館へ移動し、空襲体験者のお話を聞きます。



浦幌から参加の方は、浦幌駅13:40発の釧路行き普通列車で向かいます。帰りは厚内駅15:45発の帯広行き普通列車に乗ります。

浦幌の自然をたのしむ会共催

ウチダザリガニバスターズ

日時: 7月27日（日）13:30～16:00

集合: 13:30 浦幌町立博物館集合

定員: 小学生以上20名（電話・メール受付）

生態系保全のため、外来種ウチダザリガニを捕獲して観察。水辺の自然を考えます。

浦幌の自然を楽しむ会・浦幌町立博物館共催

雨天の場合は8月3日（日）に延期します。

企画展

上田式豆播き器の世界

7月26日（土）

9月28日（日）

10:00～18:00

場所:博物館特別展示ホール



道南の今金町で発明され、北海道独自の豆播器として全道に広まった上田式を、各地から集めてご紹介します。

入館料: 無料

開館時間: 10:00～18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

7月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日: 月曜日・月末資料整理日

**7月31日（月）は、月末資料整理
日のために休館とさせていただきます。**



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広～浦幌間 1380円(片道)
釧路～浦幌間 1800円(片道)

4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料
帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>